

■研究・実践の課題（テーマ）

最適化保健指導法の構築

■主任研究者 藤木理代

■共同研究者 近藤志保

■研究・実践の目的、方法、結果、考察や提案等の概要

【背景および目的】

管理栄養士が最適な保健指導法を論理的に理解し、対象者が納得して行動変容できる保健指導法を確立するために、健康診断受診者を対象に、健診結果の推移を解析し、健診結果に影響する因子を同定する。今年度は、BMI、中性脂肪値(TG 値)、LDL コレステロール値の因果関係について、性別と年齢要因を検討した。

【対象】

過去 5 年の健診結果のある者で、脂質異常症治療薬を服薬していない、文書により同意を得た成人 220 名（男性 117 名、女性 103 名、平均年齢 51 ± 6 歳）を対象とした。

【方法】

個々の対象について、過去 5 年の BMI、TG 値、LDL コレステロール値の推移をパス解析し、BMI が TG 値に影響する者、BMI が LDL 値に影響する者、BMI が TG 値 LDL 値ともに影響しない者の性別、年齢を比較検討した。本研究は、名古屋女子大学「ヒトを対象とする研究」審査の承認を得て実施した（承認番号 2020-17）。

【結果】

BMI が TG 値に影響を及ぼす 64 名の性別は男性 34 名、女性 30 名、年齢はそれぞれ 52 ± 4.6 歳、 52 ± 7.5 歳であった。BMI が LDL 値に影響を及ぼす 24 名の性別は男性 14 名、女性 10 名、年齢はそれぞれ 50 ± 5.4 歳、 49 ± 3.1 歳であった。BMI が TG 値 LDL 値ともに影響しない 132 名の性別は男性 69 名、女性 63 名、年齢はそれぞれ 52 ± 5.2 歳、 52 ± 7.3 歳であった。またそれぞれの BMI 値は 23.1 ± 3.92 、 20.6 ± 2.78 、 24.1 ± 2.79 、 21.4 ± 2.34 、 23.3 ± 2.81 、 20.9 ± 2.44 であり、TG 値は 119.0 ± 56.06 、 80.5 ± 47.17 、 137.9 ± 79.45 、 76.7 ± 30.69 、 113.7 ± 66.60 、 84.3 ± 37.32 であり、LDL 値は 135.5 ± 31.68 、 132.3 ± 30.41 、 133.1 ± 29.60 、 120.5 ± 28.72 、 131.0 ± 28.22 、 123.9 ± 26.18 であった。

【考察】

TG 値および LDL コレステロール値の変動に体重が関連する者とそうでない者がいることがわかった。これらに性別や年齢による影響は認められなかった。今後さらに、TG 値および LDL コレステロール値の改善に体重コントロールが有効な者とそうでない者の特性を分析し、保健指導に役立てる。